

# スマートシティの推進に向けた 市内デジタルファースト宣言

人口減少、少子高齢化などの地域課題の解決や、社会の変革に対応するため、ICT等のデジタル技術を活用するデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、将来にわたって市民が豊かな生活を送ることができるスマートシティ「尾道市」を実現する必要があります。

そのため、「市民サービス」「まちづくり」「行政運営」において、デジタル技術を最大限活用する“デジタルファースト”で取組み、持続可能なまちづくりを進めることを宣言します。

今後は、これを念頭に、業務の計画・執行に当たってください。

令和2年11月9日 尾道市長 平谷 祐宏

## 市民サービス

市民の利便性、満足度の向上を図り、将来にわたって住み続けたい尾道市を実現するため、デジタル技術を活用し、市民サービスを最適な方法で提供します。

## まちづくり

産業の活性化や都市機能の最適化を図るため、デジタル技術を活用した地域での取組を推進します。

また、円滑な市民生活・企業活動を支援するため、データの見える化等に取り組めます。

## 行政運営

生産性の向上を図るため、デジタル技術を活用し、業務の効率化や高度化を進めます。

また、将来にわたって活用できるデータの在り方の検討を進めます。

<参考>

デジタル技術を活用した行政の推進の基本原則（「デジタル手続法の概要」より：令和元年12月施行）

①デジタルファースト：個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結する。

②ワンスオンリー：一度提出した情報は、二度提出することを不要とする。

③コネクテッド・ワンストップ：民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現する。